唇顎口蓋裂の治療 ～ 北海道大学病院　形成外科

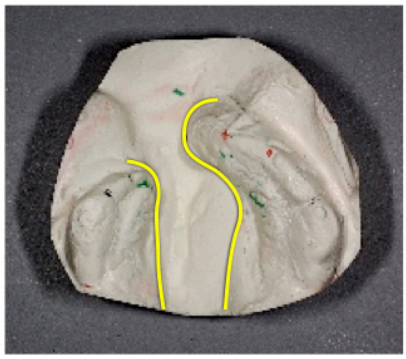
当院形成外科では、1953年より" 唇顎口蓋裂" の治療を行ってます

通常、唇顎口蓋裂は、手術時期を３回に分けて（口唇は約3ヶ月、口蓋裂は１歳半、顎裂は5~8歳）治療を行うのが一般的です。しかし、これはお子さんにとっても親御さんにとっても、また物理的にも精神的にも負担の大きいものです。このため過去 何十年もの間 、この3つの手術を一度の手術で終わらせることは、 唇顎口蓋裂に携わる医師にとって 大きな"目標"でありました。
現在、医学の進歩により、術前に口唇裂、口蓋裂、顎裂の幅を狭くなるように骨を誘導する矯正装置が開発され（オーダーメイドの専用プレートをできるだけ生後早期より装着します）、このおかげで口唇～顎～口蓋裂 を一期的（生後6ヶ月頃）に閉鎖できるようになりました。
また、この装置は裂のために哺乳がうまくいかない場合の哺乳床としての機能もあります。
さらに、nasal stent（つぶれた形態の鼻を持ち上げるパーツ）を装置につけることで、変形した鼻を術前にできるだけ矯正します。

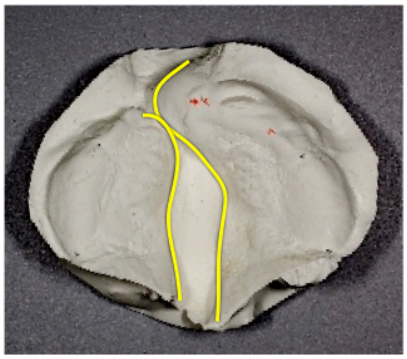
術前顎矯正装置
(SPACE)

SPACE:　pre-Surgical Physiological Alveolar Correcting Equipment

左が術前顎矯正装置です。右は装着したところです。



初診時



手術時

術後1年

術前顎矯正装置（SPACE）を装着することで顎裂がとても狭くなります。

初診時

術後1年

４歳時

術前顎矯正装置（SPACE）を装着することで、裂を狭くし、鼻の変形を矯正した上で、生後6ヶ月で、唇裂、口蓋裂、歯肉骨膜形成の３つの手術を一期的に行います。

【 この矯正装置はどこでもできるのですか？】

北海道では、北海道大学病院 形成外科 でのみで行っています。

まずは北海道大学病院 形成外科 外来 ～ 唇裂 (CL)外来 を受診ください。

唇裂 (CL)外来は月 2 回の特殊外来 (不定期) です。必ず予約してください。

【いつ受診したらよいのですか？】

生後早期よりこの矯正装着する（少なくとも生後1ヶ月には開始）ことが重要です。

できるだけ早く当科受診してください。

【どのような手順で受診したらいいの？】

①地域連携室を通じて新患予約

産科または小児科の先生から当科宛の紹介状を書いていただき

当院地域連携室を通して 形成外科新来の予約 し受診してください。

②患者さんご自身が電話で予約を取る方法

《予約受付専用電話番号》**011-706-7733**（受付時間：平日9時00分～16時00分)

この際、必ず担当者に「 **形成外科**の**唇裂 (CL) 外来** 」の予約であることをお伝えください。

③北海道大学病院 形成外科 外来に直接電話する方法

緊急に受診を希望される場合は下記代表番号から直接 形成外科外来へお電話ください。

《北海道大学病院 電話番号 (代表)》 **011-706-6966**

(形成外科外来 内線6966 受付時間：平日午後)